

調査員物語

仕事と研究の両立について…の巻

井上剛 (水生担当)



私も普段はドロだらけで調査をしています...



月に一度『日本造園学会生態工学研究委員会』にも出席しています



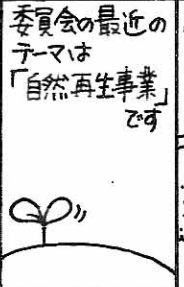
主なメンバーは各大学の先生方と行政や我々アセスの関係者です



著名な先生たちの中の役割はひたすら「つかいぱり」です



でも、皆「有志」の集まりですから、つかいぱりも重要な存在だと自負しています。



委員会の最近のテーマは「自然再生事業」です



自然再生事業というのは失われた自然を再生し生物多様性保全の視点から「最良の自然を取り戻す」という事業です



詳しくはニュース⑮の特集をご覧ください



2002年5月は「自然再生事業のあり方」と題し京都で全国大会のシンポジウムを開き検討した結果を「提言」としてまとめた。政府や関係省庁に送付しました



この一連の活動はとも印象に残りました...といういま、シンポジウム準備「提言」の原稿執筆に自分も加わったからです。



一部とはいえ、原稿を書くためにはいろいろ調べたり、深夜遅くまで時間がかかるものです...



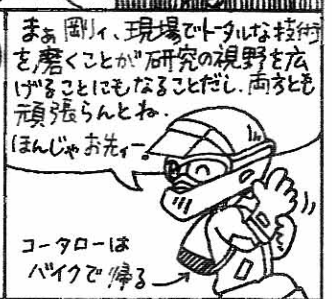
本人、頑張ってきたのあげたつもりでも...



フーム... ホイッ 書き直さ... ウレイけど...



ヤー、剛くん大変そうだね。明日も現場だけじゃ大丈夫なの？



まあ剛くん、現場でトータルな技術も磨くことが「研究の視野を広げることにもなることだし、両方とも頑張らんとね。ほんじゃあ先...



ウ〜、研究活動と仕事の両立って厳しいなあ



いやいや、両方できる技術者になって



...と見栄を切っても社内にはもう誰もいませんでした...



ドキドキ... 境上への参り、主旨説明を行い無事に「提言」も提出することができましたけれど...



ヒヤ〜、やれやれでもまあ6年もの間委員会では下積みだったけれど、オレも一人前になったっていうことだよなあ...



ですなあ？ 先生...



わっはっはっ... どの気持だよ 井上くん



^^ハッ 冗談ですよ。ヤー、あと10年下積みでもO.K.です...



...笑ってる場合じゃないと思うよ。10年経ったら君いつになるの？